

---

# アームズ・アーマー

ちゃくら

---

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

## 注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

### 【小説タイトル】

アームズ・アーマー

### 【Nコード】

N2047W

### 【作者名】

ちゃくら

### 【あらすじ】

未来の戦場。そこには人を模した全高7mもの大きさの兵器があった。アームズ・アーマー

## 敵小規模部隊接触・1

「敵機確認。ワールドジェネラルWG社の標準機2機と改造機1機です」

イギリスに近い、大西洋の上空。

舞っているのは鳥でも飛行機でもない。

巨大な鉄の人間。アームズ・アーマー人型機動兵器AAだ。

「隊長。仕掛けますか？」

そう言うのは黒い狙撃機を駆る新兵、クラウド。

「いや、敵機の数が多い。後方からの奇襲が得策だろう」

隊長と呼ばれるこの男。水色にペイントされた期待を駆り、中距離戦闘を得意とするライトである。

敵機に対して円を描くように、機体を敵後方につける。後方からの奇襲をする為だ。

しかし、それは上手くはいかない。

「ッ！クラウド！避ける」

完全に気付かれていないと思っただが、騙されていたのはライト達であった。大型の徹甲弾がライトとクラウドに放たれる。2人は左右に分かれながら、敵機の攻撃を回避した。

敵は標準機2機と改造機1機に分かれ、クラウドとライトに向かって突撃してくる。クラウドは近づく標準機に対して、右手に装備したスナイパーライフルを連射する。標準機のパイロットはそれほど有能でないらしい。射撃も回避も三流と言ったところで、実力差は歴然であった。

ライトに向かう赤黒く塗装された改造機の方は、緩急がついた動きでほとんどの攻撃を回避してくる。その上、射撃精度が高いライフルによる確実な射撃。致命的なダメージは受けていないものの、ライトは徐々に追い詰められていた。

「クラウド… そっちはどうだ？」

「1対1なら余裕ですが… 2機となると……」

クラウドもまた厳しい状況である。AAの戦闘において数的不利は少しの実力差で補える物ではない。

完全に不利な戦局だ。勝率はかなり乏しいだろう。20%…それ未満といったところだ。負ける戦いをわざわざ続けることはない。

ライトは即座に判断する。

「ダメだ。離脱する」

「了解」

ライトの指示と同時に、クラウドがレーダー妨害電波を発する自律兵器を射出する。

「逃がさない」

改造機のパイロットと思わしき女性の声が通信機を通じて聞こえる。そして自律兵器をすぐさま撃ち抜く。

その瞬間、隙ができた。

一気に加速するライトの機体。左手に装備したレーザーブレードが高熱の光を発する。それはまさに光による刃の形成。

そのまま減速せずに赤い改造機を、レーザーブレードで右から左に一文字に斬り裂く。直撃を受けた改造機の右腕は焼き斬られ、胴体も浅くであるが抉られる。

続いて右手に装備したアサルトライフルを至近射撃する。敵機は一旦距離を置いて体勢を立て直すべく、被弾しながら後退した。

「生意気なッ」

改造機パイロットの声に僅かな焦りが見え始める。機動力確保の為、WG社標準機が持つ重厚な装甲を削ぎ落とした改造のせいだろう。すでに機体の各所が破壊され、エラーアラートが鳴り止まない。

ライトにしても、危険な状態にある。起死回生の一手は決まった物の状況は五分五分といったところだ。

「クラウド、逃げ切るぞ」

ライト機、クラウド機はその身を翻し、さらに距離を離す。

「待て！」

改造機が追撃しようとする前に出る。同時にその進路を阻むよう、クラウド機右背面のボックスから浮遊機雷が大量に射出された。

## 敵小規模部隊接触・2

へブリディーズ前線基地。へブリディーズ諸島のとある島に作られた軍事施設である。

海底トンネルを開通させリニアモーターカーを用い、容易に軍備を強化することができる。

今日はやたらと忙しく物資が輸送されていた。

もっともアームズ・アーマーのパイロットであるクラウドには何ら関係のない事である。

次の警戒の開始まで36時間。基地駐在と言う仕事をこなすだけ。事実上の休日である。

クラウドは厚生課の食堂（食事時以外は喫茶店の様に運営している）でのんびりとしていた。

なんとなくテレビニュースに目をやる。

昨日のWG社との交戦が報道されていた。

（3度目の軍事衝突。緊張高まる…か）

アームズ・アーマーのパイロットになって、半年。

こう言う類いのニュースに疎くなつた気がした。

アジア共同経済圏との戦線…本物の恐怖を経験したからか。

なんと言つか、危機感を感じない。

等と考えている内にニュースは別の事件の報道に入る。

案外、危機感が無いのは皆同じらしい。

「呑気なもんだよな」

「巡航経路はいつも通りだ」

隣の滑走路で機能チェック中のアームズ・アーマー、ライトの

機体から通信が入る。

「いつも通り…了解です」

クラウドもまた、機能をチェックしながら返答する。

「通り異常なし。後は”接続”だ。」

クラウドの後頭部のジョイントに繋がるコードに微電流が流れる。始めに入るノイズが辛い。まるで立ち眩みの様な感覚がする。

「全く… ”接続機構”（リンク・システム）なんて、何で作ったんだか」

その接続機構こそがアームズ・アーマーの戦術的価値を見出だしている訳だが。

## PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能たんのうしてください。

---

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。  
<http://ncode.syosetu.com/n2047w/>

---

アームズ・アーマー

2011年10月9日15時02分発行